



近年、上海校友会は盛り上がりを見せている



京都大学、同志社大学、立命館大学の校友が上海に集結した今出川会のオープニングの様子

海外  
校友会長を  
訪ねて

# 上海

上海校友会会長

久世 健一 さん ('77理工)  
2009年7月就任

## どのような学生生活を過ごしましたか。

久世 ● 多くの友人に恵まれたことが一番の収穫です。勉強への意識も高く、充実した学生生活だったと思います。学生時代の友人とは、今でも同窓会で会うなどしていますね。一方で、麻雀や植物の写真撮影など、趣味にも打ち込めた4年間だったと思います。中でも、山野草に興味を持ち、アルバイトで貯めたお金で買った高級一眼レフカメラで山野草を撮影するのも好きでした。衣笠キャンパスは京都の観光地や自然も近く、今でも衣笠山や等持院の風景がふと思い浮かぶこともありますね。

4回生になる直前のエピソードは今でも忘れられません。3回生の後期試験を終え、友人たちと徹夜で遊んで別れた後に突然、急性胃炎で倒れました。この時に「ものが食べられない怖さ」を思い知り、以降「食べること」に対する価値観が変わりましたね。強く印象に残っているので、大学時代を振り返ると、この病気のことが真っ先に思い出されますよ(笑)。

## 6年前に仕事で赴任した上海。

### どのような街ですか。

久世 ● 卒業後、社会に出て、商社に勤務してきた訳ですが、これまで大きな川に流されるようにクアランプール、アメリカ、バンコク、広州、そして上海と、日本の駐在者が多い海外の地に赴任してきました。上海は日本でいうと大阪に近い印象です。中国最大の商業都市で何でもそろう街。しかも、もの凄いスピードで発展しています。歴史的に古い上海はノスタルジック、あるいはロマンチックな雰囲気が漂い、良いところもたくさんあります。

実は上海校友会の存在を知ったのは「偶然」

なんです。しかし、そこには2つの縁が潜んでいました。ある意味必然だったのでしょうか。数年前、大阪から乗った上海行きの飛行機で初めて会った隣席の女性と話す中で、お互い立命館出身ということで話が盛り上がったのですが、その人から上海に校友会があることを聞きました。しかも、その後知ったことですが、上海校友会を立ち上げに尽力したのは中学時代の同級生だったのです。驚きとともに、これも何かの縁だと思いましたね。そうこうするうちに活動に関わるようになりました。

### 会長ご就任から1年。

### 上海校友会の現状について教えてください。

久世 ● 参加し始めた当初は、正直申しまして活気がない印象でした。私は上海にある「京都人会」という集まりにも参加していましたので、他大学の校友から話を聞く中で、もっと上海校友会を盛り上げなければならないという使命感が芽生えてきました。「自分にこんなに母校愛があったのか」と驚きましたよ(笑)。以降、協力を呼び掛けて集まった12人のメンバーで校友会組織を再編し、既存のゴルフやグルメ会、ビジネス交流部など新しいサークルも立ち上がってきました。少しずつですが、活気が出てきたと思います。

さらに今年7月には、上海在住の京都、同志社、立命館の3大学校友が合同で集まる「今出川会」を企画、開催しました。元々「今出川ゴルフ会」を実施していることもあり、両大学校友会の会長も大賛成でした。全体で約220名、立命館校友だけで80名が集まる大盛況の会でした。こうした、皆さんの喜びにこれからも貢献していきたいですね。会長に就任したからにはもちろん腹をくくっています。有志の集まりとはい



久世会長

え、ひとつの組織として発展させたい思いがありますから、衰退することなく、この先も続いていくような強い組織をつくりたいです。

そして、これからは海外の校友がさらに増えるでしょうから、上海から世界の校友が輪になるような仕掛けもつくってみたい。校友会には色んな人が、それぞれの価値観を持って集まる場で良いと思うのです。大切なのは校友と学園の両方に役立てるような組織にすることではないでしょうか。

<http://alumni.ritsumei.jp/shanghai/>

### 上海校友会

設立:2002年  
会員数:約170名(2010年9月現在)  
総会時期:2010年は4月に実施  
2010年総会参加者数:44名

